

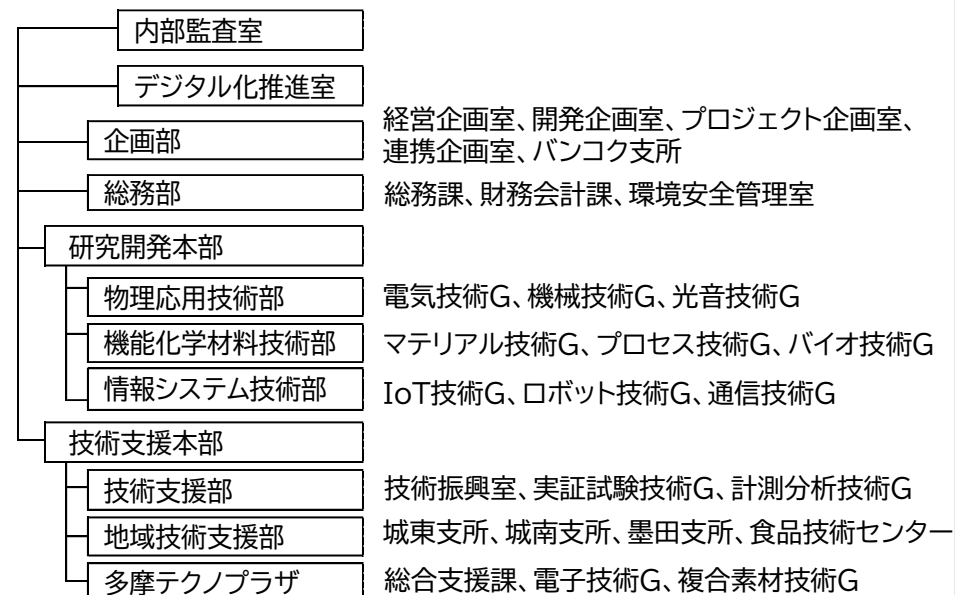
目的

産業技術(食品工業技術を含む。)に関する試験、研究、普及及び技術支援等を行うことにより、都内中小企業の振興を図り、もって都民生活の向上に寄与することを目的とする。

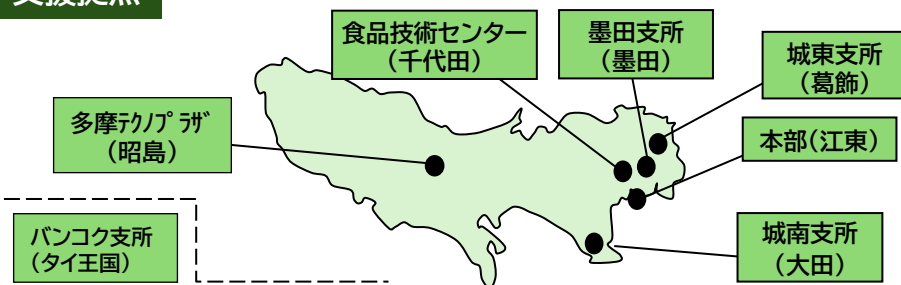
沿革

大正10年10月 府立東京商工奨励館(東京都立工業奨励館の前身)設立
 大正13年 8月 東京市電気研究所(東京都電気研究所の前身)設立
 昭和 2年 3月 東京府立染織試験場(東京都立繊維工業試験場の前身)設立
 昭和34年 7月 東京都立アイソトープ総合研究所設立
 昭和45年12月 東京都立工業技術センターに改組
 平成 9年 4月 東京都立産業技術研究所に改組
 平成12年 4月 東京都立繊維工業試験場を統合
 平成18年 4月 地域中小企業振興センター(城東、城南、多摩)の技術支援部門を統合し、地方独立行政法人へ移行
 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
 平成22年 2月 多摩テクノプラザ開設
 平成23年10月 本部を北区(西が丘)から江東区(青海)に移転
 平成27年 4月 バンコク支所開設
 令和 2年11月 DX推進センターを開設
 令和 3年 4月 東京都立食品技術センターを統合

組織図



支援拠点



役員・職員

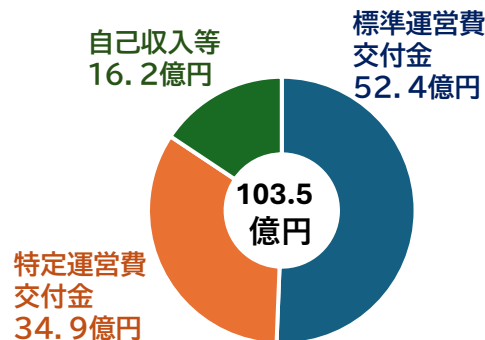
令和7年4月1日時点

理事長 黒部 篤
 理事 角口 勝彦
 理事 三尾 淳

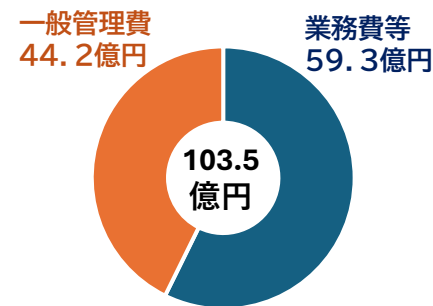
職員数 383名
 (研究職 283名、事務職 100名)
 ※ワイドキャリアスタッフを含む

予算

収入(令和7年度)



支出(令和7年度)



事業所のご案内

本部

〒135-0064 江東区青海2-4-10
TEL. 03-5530-2111 (代表) FAX. 03-5530-2765

DX推進センター

〒135-0064 江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟
TEL. 03-5530-2558 FAX. 03-5530-2400

多摩テクノプラザ

〒196-0033 昭島市東町3-6-1
TEL. 042-500-2300 FAX. 042-500-2397

城東支所

〒125-0062 葛飾区青戸7-2-5
(改修工事のため休館中)

墨田支所

〒130-0015 墨田区横網1-6-1 KFCビル12階
TEL. 03-3624-3731 FAX. 03-3624-3733

城南支所

〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20
TEL. 03-3733-6233 FAX. 03-3733-6235

食品技術センター

〒101-0025 千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎6～8階
TEL. 03-5256-9251 FAX. 03-5256-9254

バンコク支所 (タイ王国)

399 Interchange building, 20th Fl, Sukhumvit Road,
Klong Toey Nua, Wattana, Bangkok 10110
TEL. +66-(0)2-712-2338

<https://www.iri-tokyo.jp>



2024年08月発行 登録番号 都産技2024-06号

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター



事業案内 TIRI Overview



都産技研は東京都の産業の発展を支え、都民生活の向上に寄与します。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、2006年に東京都により設立された公設試験研究機関で、その目的は都内中小企業に技術支援を行うことで、都内中小企業の振興を図り、都民生活の向上に寄与することにあります。都産技研の源流は1921年に設立された府立東京商工奨励館にあり、時代とともに変わりゆく産業を変わらぬ使命で支え、先端技術や社会ニーズをとらえた中小企業支援に取り組んでまいりました。2021年度におかげさまで設立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出したところです。変わらぬ使命を今後も果たしてゆくために、大きく変わる産業構造をみすえ、現在と将来の社会ニーズを的確にとらえ、時代の変化とともに自ら変わり続けられるよう取り組んでまいります。

2021年度に開始した第四期中期計画では、都産技研の総合力を十分に発揮し、「頼りになる都産技研」をスローガンとして、技術支援や研究開発を推進しています。お客さまへのサービスの質を向上させるために、オンラインシステムの活用やオーダーメイド型技術支援を行っています。研究開発では、研究成果を着実に製品化・事業化につなげるために、東京の産業を「牽引する」「創出する」「支える」という方向性を明確にして取り組んでいます。プロジェクト型支援では「新産業創出支援」と「社会課題解決支援」とに特化し、時代の変化に柔軟かつ迅速に対応した事業を戦略的に実施します。また、中小企業が商機を広げるためのオープンイノベーションの推進やスタートアップ企業の夢を形にするための支援にも注力いたします。さらに、デジタルトランスフォーメーションを実践し、都産技研が蓄積した経験や実績を中小企業での実装に役立てていきます。

今後も都産技研は役職員一同、「産業を担う東京の中小企業を科学技術で支える」という変わらぬ使命の下、すべての人々の生活に貢献してまいります。皆さまの引き続きのご支援、ご意見、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 黒部 篤

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

明日のくらしと産業を支えるために

基本理念	行動指針
私たちの使命 産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です	私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します
私たちの理想 地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です	1.誠実であり続けます (誠実) 2.科学技術で社会に貢献します (技術) 3.環境保護に取り組めます (環境) 4.活気に満ちた健全な職場をつくります (活力) 5.自らの向上に努めます (研鑽) 6.適正に業務を行います (適正) 7.情報を適切に取り扱います (情報)
私たちの信条 すべての人々の喜びと安心を大切に、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です	役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します

第四期中期計画 経営方針



総合力を活かした技術支援

Technical Assistance

企画・設計・試作から評価試験までをさまざまな技術分野でトータルに技術支援し、中小企業のお客さまのイノベーションを加速します。

1 技術相談

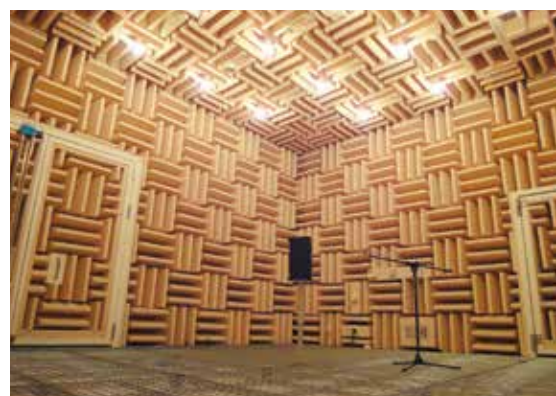
製品の企画、設計、試作から実用化、品質管理、事故解析など、ものづくりに関する技術からサービス産業まで幅広い分野で技術相談をお受けします。最適な分析方法や測定方法、試作品の評価方法もご提案いたします。



総合支援窓口

2 依頼試験

お客さまの製品やサンプル、材料などをお預かりして試験報告書を発行します。試験結果に基づき、品質証明や事故原因などについて都産技研独自の研究成果も活用しながら技術的なアドバイスを行います。お客さまの高品質、高性能などの付加価値の高いものづくりをお手伝いします。



無響室

3 機器利用

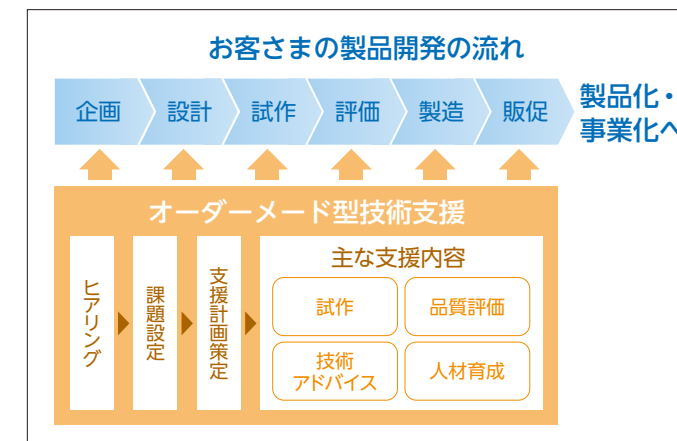
自社で導入するには困難な最新の測定機器や高度な分析機器を整備しており、お客さま自身で操作していただけます。お客さまの製品や材料などの試作、測定、分析にお役立てください。機器の操作方法や試験データの読み方などもご説明します。



金属粉末積層造形装置

4 オーダーメイド型技術支援

お客さまの開発段階(企画から販売促進まで)に応じて、きめ細かく柔軟にサポートします。製品の試作、品質評価、外部専門家による技術アドバイス、人材育成までさまざまなメニューを組み合わせご利用いただくことができます。



オーダーメイド型技術支援の流れ

5 技術セミナー・講習会

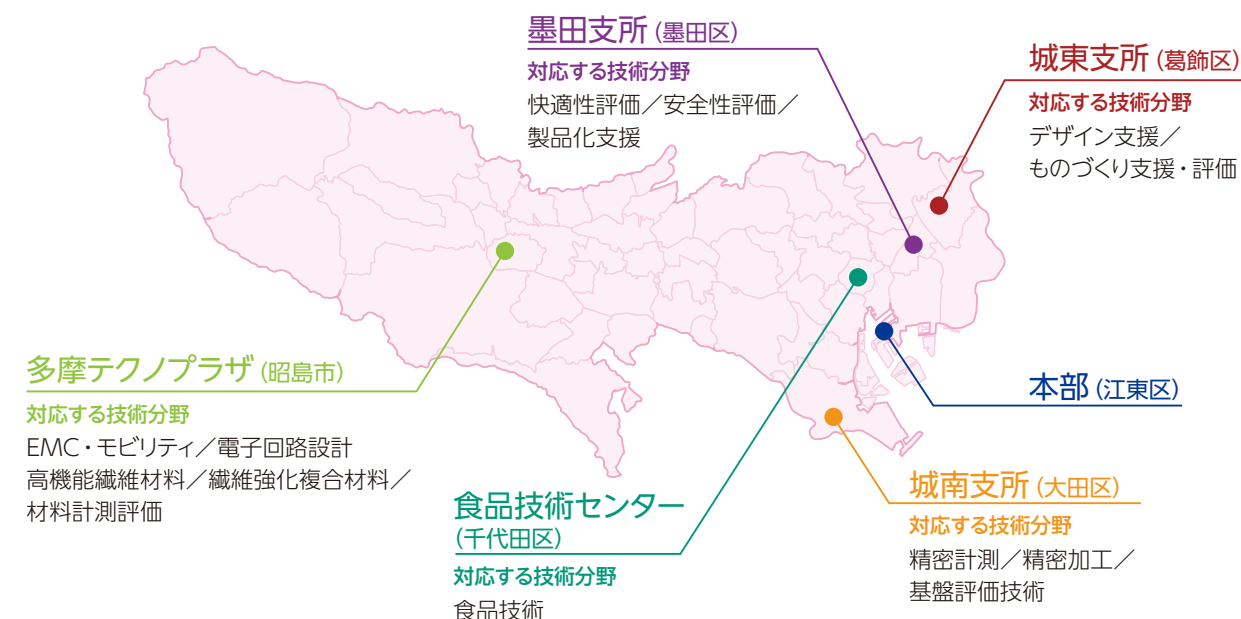
都産技研の技術分野におけるものづくりの基本やさまざまな分野の分析方法やノウハウ、国際規格対応の知識などを身に付けたい方や、最新技術・業界のトレンド情報などを把握したい方に向けて、技術セミナー・講習会を開催しています。



技術セミナー・講習会の様子

地域や支所の特色を生かした支援

地域の産業特性を踏まえた技術支援や食品産業に関わる支援を行います。



● 新技術・新製品につなげる研究開発

Research and Development

社会的課題や将来的な経済の変化を踏まえた研究開発戦略に基づき、お客さまの新技術・新製品に着実につながる研究開発を行います。

1 基盤研究

多くの中小企業のお客さまが抱える課題の対応に必要な研究、市場の拡大が見込まれる分野、社会的課題を解決する分野の研究に研究員が取り組み、お客さまの製品化・事業化につなげていきます。

2 共同研究

基盤研究で得られたアイデアや技術シーズをベースに、独自の技術やノウハウを持つ中小企業や業界団体、大学などと協力して、製品化・事業化につなげるための共同研究を実施しています。共同研究は年に複数回募集を行います。

3 外部資金導入研究

中小企業のニーズや社会的課題に応えるために、産業振興を目的とする外部資金や科学研究費助成事業などへ積極的に取り組んでいます。

● 最先端で高付加価値な製品開発を戦略的に支援

Strategic Support

環境や技術の急激な変化に迅速に対応するため、「新産業創出」と「社会的課題解決」に特化した事業に取り組み、最先端の技術を用いた製品や付加価値の高い製品開発をサポートします。

クラウドと連携した5G・IoT・ロボット製品開発等支援事業

高速通信、IoT、ロボットとクラウドが連携する技術の開発や実証試験を支援し、中小企業の製品開発や事業化を推進します。

航空機産業参入支援事業

航空機部品の試作や海外規格試験、共同研究による技術開発などを通して、中小企業の航空機産業への参入を支援します。

サーキュラーエコノミーへの転換支援事業

食品ロス削減や脱プラを含む総合的な視点から、より高度な循環経済の実現に向け、中小企業への普及啓発、研究開発を支援します。

介護現場のニーズに対応した研究開発推進事業

介護従事者の身体的負担軽減や業務効率化など、介護現場のニーズと中小企業の技術力を結び付け、次世代介護機器などの研究開発を推進します。



IoT技術展示 (DX推進センター)



航空機産業支援室

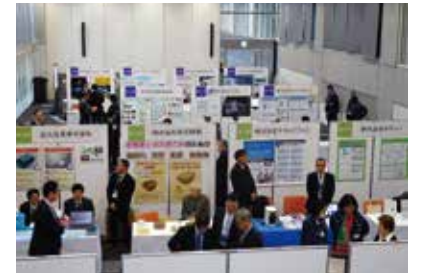
● 多彩な交流連携によるオープンイノベーション

Cooperation and Collaboration

新製品・新技術の開発や製品の海外展開を促進するため、都産技研のネットワークを活かしたオープンイノベーションを推進しています。

1 多様な連携

行政機関、金融機関、支援機関、大学・研究機関計66機関と業務連携協定等を締結し、中小企業の技術力向上や新製品・新技術の開発につながる取り組みを協働しています。連携機関の協力のもと、中小企業の技術課題解決に向けた企業間連携・共創、協業を後押しすることを目的とした「東京イノベーション発信交流会」を毎年主催しています。



東京イノベーション発信交流会の様子

2 製品開発支援ラボ

都産技研の本部と多摩テクノプラザに、中小企業のお客さまが実験室・試験室として利用できる賃貸スペースを用意しています。共用の化学実験室や試作加工室、都産技研の各種設備を活用でき、入居するお客さまのスピーディな製品化・事業化を後押しします。



入居者が24時間利用可能な化学実験室

3 海外展開の促進

●製品の海外展開支援 (MTEP)

広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP: エムテップ) は、製品を海外に輸出する際の規格適合支援サービスを行っています。国際規格などに関する相談やセミナーの開催、海外規格解説テキストの発行などを行っています。

●バンコク支所 (タイ王国での技術支援)

ASEAN地域に進出する日系企業のものづくりに関する技術相談に対応しています。現地従業員の人材育成などを目的に、ウェブ会議システムを活用し、本部の研究員を講師とした技術セミナーなどを開催しています。

》 都産技研の技術シーズや成果を伝える情報発信

ウェブサイトやSNS、各種イベントなどさまざまな機会に中小企業のお客さまに役立つ技術情報などを発信しています。

都産技研を「知る」

- 技術情報メディア『TIRI NEWS』
- TIRI クロスミーティング
- メールニュース

- 都産技研YouTube『TIRIチャンネル』
- 都産技研X (旧Twitter)
- 都産技研公式note

都産技研と「出会う」

- 産業交流展
- 各種展示会
- 施設公開